

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                         |    |            |
|----------------|-------------------------|----|------------|
| ○事業所名          | KTC放課後等デイサービス はぐぼん きふね町 |    |            |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年2月10日              |    | 2025年2月21日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                  | 22 | (回答者数) 20  |
| ○従業者評価実施期間     | 2025年2月17日              |    | 2025年2月21日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                  | 4  | (回答者数) 4   |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年2月27日              |    |            |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること  | 工夫していることや意識的に行っている取組等  | さらに充実を図るための取組等  |
|---|---|--|---|
| 1 | ・事業所の広さ                                     | 広さを活かし療育レベルに合わせ同時に様々な取り組みを実施している。<br>具体的には、学習支援のエリアと運動活動の療育のエリアを分けそれぞれに必要な支援を同時かつ効果的に実施している。   | 机などの配置を工夫し、状況に合わせ対応していく                                       |
| 2 | ・年齢期に合わせた学習支援及び生活力・社会性向上のための取組を効果的に実施できている。 | 職員の特性を生かし実施する支援の担当等を配分し、より効果的な支援を実施している。   | 職員のももとの専門性の向上の他に、様々な研修への参加を実施し新たな支援方法や様々な状況にも対応できる育成環境を整えていく。 |
| 3 | ・学校卒業後に必要となる社会性及び協調性・生活力に関する支援が充実している。      | 日々の支援の中において、遊びを通し社会に出た後に必要となる様々な能力を自然と身に付けていくことができる支援内容を実施している。<br>具体的には、お金に関する知識やグループ行動などを重点的に取り入れた活動を毎日必ず実施し、その中でも子ども達どうして「得意な子が苦手な子に教えていく」事で人間関係を学び協調性などを高めたいける環境を整備している。 | 子ども達自沈のやる気を維持向上し続けることができるカリキュラム内容を提供し続けていく。                   |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等   | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等   |
|---|--|---|--|
| 1 | ・事業所の広さ                                    | 広さがあることによる利点も多くあるが、同時に多数の内容を実施できるが故の問題として、学習支援時など子ども達が苦手なことにチャレンジしている時に集中力を維持しにくい状況になる時がある。 | このような状況においては、協調性や社会的行動の観点により学習支援以外の活動の子ども達へ状況を説明し理解できる範囲で静かな行動ができるように促すとともに、学習支援側もいったん気分を変えて他の取組に参加することで精神の回復と安定を取れるよう随時状況に合わせ全体支援を実施していく。 |
| 2 | ・学校休校日の支援時間の問題                             | 学校休校日は10時よりの迎え開始なので、共働きの場合に支援開始時間よりも前に出勤となる方に対して、時間的に支援提供を受けるのが難しい場合があるという意見があった            | これに対しては、全ての時間や胃に対応することは難しいが、状況に応じ「延長支援」を適切に活用し可能な限り支援提供できる環境を整えていくとともに個別の状況に応じてどのように対処していくかの相談機会を積極的に増やしていく。                               |
| 3 | ・他事業間交流の少なさ                                | 長時間支援時における一般社会の様々な事に参加する社会参加型のカリキュラムは多いが、土日営業が無いため長期休みの間や祝日の時以外に他事業との交流機会が少ないとの意見があった。      | 今年度よりコロナ渦ではなかなかできなかった他事業所交流の機会を増やすとともに、長期休み中に開催されている一般坂型のイベントなどへの参加を検討しカリキュラム作成を実施していく予定である。<br>また、今まで祝日で実施していた家族交流系のイベントの開催時期を見直していく予定である |